

2 目標達成計画

事業所名： 福光園グループホーム フクちゃんハウス
作成日： 令和4年10月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念を大切にし、事業所としての基本理念を掲げている。特性を活かす事、利用者が生活する場として、どういう理念がいいのかという意味にも繋げるようにしている。その理念をきちんと個人個人が確認し、仕事に入るよう努めていく姿勢が大切とされる。	事業所としての理念が、利用者が生活していく中で、過去、現在の状況が見えるような理念としている。その観点から、個々の特性、思いがどのような向き方をしているか、それに向かう本人像がどう描かれているかという事を大切にしてい事。そこから見えてくる視点の置き場所を確認することが大切と考える。	職員個々が「理念とは」という事の理解と、理念の重み、自分が向き合える姿、姿勢を常に考えながら仕事していく事の重みにも繋がる為、利用者の生活が安心できるようサポートしていく事。職員の日々の振り返りにも活かす取り組みとしていく。	6 か月
2	23	利用者が生活していく中で、本人がどういう生活を望んでいるか、家族がどう生活して欲しいかという事を確認し、それを引き出す事の大切さから生活安定、機能維持にも繋げていく事が大切とされる。第二のわが家としてここがいいと言って頂ける為にも、様々な方向からアクションを起こしていく。	利用者個々の思い、内面に隠れた事が見え隠れするのではなく、常に見えるよう支援し伝える事の大切さを理解し、カンファレンス、情報提供を行いながら探していく事の大切さから、本人としての姿を見つけていく事。	常に視点をどういう位置に置き見ているか、見える方向でも思い、考える事が違う為、共通意識を持ち、同方向から見て思う事を理解していく。その中で本人としての生活が安心、安定に繋がる為、機能維持、今まで出来なかった事が出てきた事が出来る楽しさが生まれるよう支援していく。	6 か月
3	16	出来るだけオムツは使用しないという事を、当ホームでは掲げて支援している。自宅にいた時、他施設で生活していた時に使用していても、それがその人にとって正しい事かという事は常に考えている。生活パターンを把握する事で排泄状況も見えてくる。機能維持の重要性を大切にす。	利用者個々に違いは当然あるが、行きたい気持ちも強かったりと、自分の気持ちと裏側に出してしまう事もあったりしている、表情、体動、言動から確認すればすぐに見えてくる事がある為、不快感を与えずにさり気なく、会話の延長線で誘導していく支援。失敗を問題とせず、今できている事を伸ばしていく支援も継続的に行う。	自分で行ける人、介助を必要とする人の対応は異なるが、今発揮出来る機能を活用させ出来るだけトイレでの排泄を行う事で、自分として出来るんだという気持ちを高めていく支援を継続していく。例え出なくても行為が大切である事、機能活用にも繋がる為。	6 か月
4					か月